

公益財団法人SGH財団 第15回 市民公開講座

こんなに進んだ

大腸がん診療！

大腸がんは最近特に増えているがんで、罹患率は1位、死亡率は肺がんに次いで2位です。大腸の早期がんはほぼ治ります。進行がんも従来は治らないものが、種々の治療の進歩で治る時代になってきました。大腸がんと診断されても慌てないために、しっかりと勉強しましょう。

日時

平成29年2月26日(日)

開場12:30／開演13:00／閉演予定15:45

会場

グランフロント大阪北館 B2F

ナレッジキャピタル

コングレコンベンションセンター ホールA

主催：公益財団法人SGH財団

後援：公益財団法人日本対がん協会

協力：SGホールディングス株式会社

佐川急便株式会社

佐川アドバンス株式会社

スケジュール

12:30 開場

13:00 開演

主催者挨拶

公益財団法人SGH財団理事長

SG ホールディングス株式会社代表取締役会長

佐川急便株式会社社長

栗和田 榮一

基調講演

大腸がんとは？

大阪大学医学部消化器外科教授

森 正樹

講演

大腸がんの診断と内視鏡による優しい治療

広島大学病院内視鏡診療科教授

田中 信治

最新の大腸がん手術～美しく優しい手術～

札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学教授

竹政 伊知朗

大腸がん化学療法と自分らしい生活の両立

大阪大学医学部先進癌薬物療法開発学助教

工藤 敏啓

休憩

パネルディスカッション

司会 森 正樹

パネリスト 田中 信治, 竹政 伊知朗, 工藤 敏啓

挨拶

公益財団法人SGH財団理事

日本赤十字社和歌山医療センター院長

京都大学大学院医学研究科特命教授

平岡 真寛

15:45 閉演

基調講演「大腸がんとは？」



今は2人に1人ががんにかかる時代といわれています。その中でも男女ともに罹患率の高いものが大腸がんです。がんといえば致死率の高い恐ろしい病気というイメージがあるかもしれませんが、早期発見・適切な治療により治る患者さんが増えています。大腸がんは患者さんが多いために診断や治療(手術や抗がん剤治療)の研究が最も進んでいます。本日の講座により大腸がんの知識を深めていただき、あなたやあなたの身近な人が大腸がんを患った際に適切な対応をするための道しるべとなることを願います。

大阪大学医学部消化器外科教授

森 正樹

学 歴

昭和55(1980)年 3月 九州大学医学部卒業
昭和61(1986)年 3月 九州大学医学系大学院修了

職 歴

昭和55(1980)年 6月 九州大学医学部第二外科入局
平成 3(1991)年 4月 アメリカ合衆国ハーバード大学留学
平成 5(1993)年 6月 九州大学医学部第二外科 講師
平成 6(1994)年 4月 九州大学生体防御医学研究所 助教授
平成10(1998)年 4月 九州大学生体防御医学研究所 教授
平成20(2008)年 4月より現職

講演「大腸がんの診断と内視鏡による優しい治療」



本邦のがん死亡統計において、大腸がん死亡数は男性で第3位、女性では第1位となっており、また、罹患率はいかにがんの中で第1位になっています。これは、本邦が世界に冠たる長寿国である事と食生活の欧米化が主な理由です。一方、内視鏡の進歩によって大腸がんは早期のうちに発見が可能になり、多くの早期がんは内視鏡による優しい治療で完治が可能になっています。便潜血検査による検診や大腸内視鏡検査の実際をよく理解し有効活用することにより早期に病変を発見し、手術や抗がん剤による治療を受けなくてもすむ段階で内視鏡で根治して、よりよい人生を送れるよう心がけましょう。

広島大学病院内視鏡診療科教授

田中 信治

学 歴

昭和59(1984)年 3月 広島大学医学部医学科卒業

職 歴

昭和59(1984)年 6月 広島大学医学部附属病院内科
昭和61(1986)年 4月 北九州総合病院内科
平成 元(1989)年 4月 広島大学医学部第一内科
平成 3(1991)年 4月 国立がんセンター病院内視鏡部
平成 4(1992)年 4月 広島大学医学部第一内科
平成 5(1993)年11月 広島大学医学部第一内科・助手
平成10(1998)年 8月 広島大学医学部附属病院光学医療診療部・助教授
平成12(2000)年 4月 広島大学病院 光学医療診療部・部長
平成21(2009)年 1月 広島大学病院 内視鏡診療科・教授
平成23(2011)年 4月 広島大学病院 病院長補佐
平成27(2015)年 7月 広島大学病院 IBDセンター長

講演「最新の大腸がん手術～美しく優しい手術～」



大腸がんに対する治療には、「内視鏡」、「抗がん剤」、「放射線」など色々な方法がある中で、「手術」の影響はとても大きなものです。根治性に優れ、合併症が少なく、さらには傷が美しいような質の高い手術は、小さなことの積み重ねによって達成されます。これまで手術は、大きく開腹することが標準的でしたが、医療機器・技術の飛躍的進歩により、小さな穴から操作する「腹腔鏡下手術」が可能となりました。最近では、さらに低侵襲な「単孔式手術」や「ロボット手術」なども開発され、個々の患者さんに応じた治療戦略をたてることが可能になってきました。

札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学教授

竹政 伊知朗

学 歴

平成 5(1993)年 3月 大阪医科大学医学部卒業
平成14(2002)年 3月 大阪大学大学院博士課程修了

職 歴

平成 5(1993)年 4月 大阪大学医学部付属病院旧第二外科
平成 6(1994)年 6月 国立大阪病院外科 医員
平成 9(1997)年 2月 秋田赤十字病院消化器センター 医員
平成10(1998)年 6月 大阪大学大学院病態制御外科 大学院
平成11(1999)年 4月 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス科 研究員
平成14(2002)年 4月 法務技官医師
平成16(2004)年 6月 大阪大学大学院消化器外科 助手
平成27(2015)年 4月 大阪大学大学院消化器外科 講師
平成27(2015)年11月より現職



大腸がんは種々あるがんの中で最も抗がん剤治療の研究が進んでいる領域の一つです。以前、我々の武器となる抗がん剤は殺細胞性抗がん剤だけでした。その後、分子標的治療薬と呼ばれる薬剤が世に出ました。近年では免疫チェックポイント阻害剤が注目されており、大腸がんでも新たな知見が集積されています。しかし、薬剤の開発が重要である一方で、「がんを患いながらいかに自分らしく生きるか」が重要な時代になってきました。がんとどのように戦うのか、または付き合っていくのか、副作用はどうするのかなど、重要な問題を一緒に考えてみたいと思います。

大阪大学医学部先進癌薬物療法開発学助教

工藤 敏啓

学 歴

平成11(1999)年 3月 弘前大学医学部卒業

平成17(2005)年 3月 弘前大学大学院博士課程修了

職 歴

平成11(1999)年 6月 弘前大学医学部付属病院(研修医)勤務

平成17(2005)年 4月 三沢市立三沢病院勤務

平成22(2010)年 7月 近畿大学医学部腫瘍内科 助教

平成24(2012)年 4月より現職

国民の半数が罹患するがんは文字通りの国民病です。SGH財団はがん撲滅の一助として、毎年、がんに関する市民公開講座を実施しています。今回は最近増加している大腸がんを取り上げ、「こんなに進んだ大腸がん診療!」をテーマとしました。大腸がんに関するわかりやすい講演に続いて、内視鏡治療、手術、薬物治療の最新の情報を専門医にわかりやすく講演していただきます。多くの方の参加をお待ちしています。



コーディネーター

公益財団法人SGH財団理事
日本赤十字社和歌山医療センター院長
京都大学大学院医学研究科特命教授

平岡 真寛

学 歴

昭和52(1977)年 3月 京都大学医学部卒業
昭和59(1984)年 3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職 歴

昭和59(1984)年 4月 京都大学医学部附属病院放射線科助手
昭和62(1987)年 1月 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授
平成 元(1989)年 6月 京都大学医学部講師
平成 4(1992)年 1月 京都大学医学部助教授
平成 7(1995)年 6月 京都大学大学院医学研究科教授
平成19(2007)年 4月 京都大学医学部附属病院がんセンター長 併任(～平成21年5月)
平成24(2012)年12月 京都大学産官学連携本部副本部長
平成28(2016)年 4月 日本赤十字社和歌山医療センター院長

司会

フリーアナウンサー

植月 百枝

これまでの市民公開講座

第14回「泌尿器科がん：診断・治療の最前線」

開催日：平成28年2月21日(日) 会場：新大阪イベントホール レルミエール(大阪市)

第13回「こんなに進んだ乳がん治療！」

開催日：平成27年3月15日(日) 会場：大阪国際会議場(大阪市)

第12回「輝いて生きる」

開催日：平成26年2月16日(日) 会場：よみうりホール(東京都千代田区)

第11回「がんと人生」

開催日：平成25年3月24日(日) 会場：有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

第10回「子宮がんの予防と治療」

開催日：平成24年3月20日(火・祝) 会場：国立京都国際会館(京都市)

第9回「乳がんの治療と診断」

開催日：平成23年3月27日(日) 会場：京都大学 時計台ホール(京都市)

第8回「集学的がん治療～治療成績向上を目指したチーム医療～」

開催日：平成22年3月28日(日) 会場：京都大学 時計台ホール(京都市)
共催：文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

第7回「がん治療最前線」～大きく変わるがん治療(薬物、放射線、外科治療)～

開催日：平成21年3月22日(日) 会場：東海テレビ テレビアホール(名古屋市)
共催：NPO法人日本臨床腫瘍学会

第6回「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日：平成20年2月2日(土) 会場：京都産業会館 シルクホール(京都市)
共催：京都新聞社

第5回「大腸がんの最前線」

開催日：平成19年3月17日(土) 会場：京都市北文化会館(京都市)

第4回「肺がんの最新情報」

開催日：平成18年3月25日(土) 会場：京都産業会館 シルクホール(京都市)

第3回「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日：平成17年2月26日(土) 会場：京都会館第二ホール(京都市)

第2回「前立腺がんの最新情報」

開催日：平成16年3月20日(土・祝) 会場：国立京都国際会館(京都市)

第1回「乳がんの最新情報」

開催日：平成15年2月1日(土) 会場：京都市北文化会館(京都市)
共催：京都新聞社

= MEMO =

公益財団法人SGH財団概要

設立 昭和61年2月14日(平成22年11月1日公益財団法人へ移行)

理事長 栗和田 榮一

(SGホールディングス株式会社代表取締役会長／佐川急便株式会社社長)

目的 国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、経済・産業、教育・文化、医療・福祉等の振興・発展を図るための研究及び事業への助成等を行う。

事業 東南アジア諸国からの外国人留学生に対する支援事業

がん(癌)に関する基礎研究及び応用治療研究に対する助成・褒賞等の支援事業

経済・産業活動を支える運輸・物流に関する支援事業

上記に関する情報資料収集及び出版物の刊行、講演会等による普及・啓発活動 など

所在地 〒600-8009 京都市下京区函谷鉾町79 ヤサカ四条烏丸ビル9階

TEL: 075-255-9310

FAX: 075-255-9311

e-mail: info_cr@ sgh-foundation.or.jp

URL: <http://www.sgh-foundation.or.jp>



公益財団法人佐川美術館

【開館時間】 午前9時30分～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)

【休館日】 月曜日(祝日に当たる場合はその翌日)、年末年始、展示替期間

【入館料】 一般1,000円／高大生600円

中学生以下無料(※保護者の同伴が必要)

【所在地】 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891

TEL: 077-585-7800 FAX: 077-585-7810

比叡・比良山を望む琵琶湖のほとりに佇む佐川美術館。水庭が建物を取り囲むように大胆に配置され、「水に浮かぶ美術館」と称される館は和の印象を重視し、モノトーンを基調とした南北2棟と水没した地下展示室からなり、水の揺らぎや光と影を演出しています。

日本画家「平山郁夫」・彫刻家「佐藤忠良」・陶芸家「樂吉左衛門」3作家の展示を中心に、ジャンルを問わずバラエティーに富んだ展覧会やイベントを開催しています。